

広島市東部地区連続立体交差事業の都市計画変更に係る
地元説明会（安芸区船越地区）の開催結果について

1 開催日時等

対象地区	開催日時	会 場	出席者数
安芸区船越地区	平成30年9月14日（金） 19:00～19:50	安芸区民文化センター	約70名

2 結果

- 事業に関する意見が大半で、都市計画変更に関する意見はなかった。

3 主な質疑

- 7月の豪雨災害により、防災などに多大な予算が使われ、連立事業が延期しないか心配だがどうか。
- ⇒連立事業と災害事業では、予算が異なるので、連立事業が着実に進んでいくよう予算を確保し、事業を進めていきたい。
- 工期が17年かかるとのことだが、もう少し早く完成させてほしい。これが住民の思いである。
- ⇒今後行う鉄道の詳細設計において、工事工程の工夫などにより、できるだけ工事期間が短縮できるよう検討を行っていきたい。
- 今後住民の要望等がでてくると思うが、順調にいったって、工事着手時期は、平成34年度中か。35、36年度に遅れることはないか。とにかく早く着工してもらいたい。
- ⇒できるだけ早く工事着手するとともに、工事期間が短縮できるよう、地元からのご意見等を十分伺いながら、県、JRと連携し、着実に取り組んでいきたい。
- 連立事業に併せて東西幹線道路が整備されるとのことだが、南北の道路は整備が進んでいない。街づくりを進めていくためにも、道路整備を進めてほしい。
- ⇒現在、事業を進めている花都川線や山の手線等の南北の道路については、厳しい予算の中、なかなか整備が進んでいない状況であるが、生活道路の改良等も含めて、引き続き、着実に整備を進めていきたい。また、東西幹線道路の整備をこれからの街づくりにも活かしていきたい。
- 向洋駅周辺は、用地取得が済んで、更地になっているが、堀越第1踏切からの場川西踏切までの区間は何も進んでいないように思える。向洋駅周辺の府中町はあれだけ先行していて、広島市はI期工事の時期をこれに合わせられるのか心配である。
- ⇒堀越第1踏切からの場川西踏切においては、現在、用地買収を進めており、仮線工事までには、用地買収を完了させたい。

○受田川について、この前の台風の時のように高潮が発生した場合、船越1丁目に流れてくる可能性がある。こういうことを考えると堀越第1踏切は大丈夫か心配だ。道路はどのくらいの高さになるのか。

⇒堀越第1踏切の道路は、現在のところ現況とほぼ同じ高さで計画しているが、隣接する受田川の河川管理者と協議しながら、今回の災害による土砂堆積も踏まえ、今後詳細な設計の中で検討していきたい。

○鉄道への遮音壁などは設置するのか。

⇒現況の騒音調査を行い、それに基づき、鉄道を高架化した際の騒音の予測値を環境基準に照らし、予測値が環境基準を超過する場合、遮音壁等の対策を検討したい。